

「第21回滋賀県施設・学校合同企画展 ing…～障害のある人の進行形～」

開催要項

1. 概要

本展は、滋賀県内の障害福祉施設の支援員や地域の造形教室、特別支援学校・小学校等の教員等と、ボーダレス・アートミュージアム NO-MA が実行委員会を組織し、企画・展示を行う展覧会である。展覧会に出展、展示するという目的を持ち、障害のある人に日々寄り添う支援者ならではの目線で、それぞれの現場で生まれる多種多様な表現に触れ、作者個人、作品一つひとつの魅力を伝えることを、実行委員会を通して検討し、学んでいく場となる。

障害のある人が作品を創造し発表する機会を生み出すことや、支援員および教員等がより質の高い支援を行えるようになることを目的とし、また、本展の取り組みを発信することで障害のある人の芸術活動への社会の関心を高めることを事業の目的とする。

2. 展覧会名

第21回滋賀県施設・学校合同企画展 ing…～障害のある人の進行形～

3. 主催

滋賀県施設・学校合同企画展実行委員会

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA [社会福祉法人グロー (GLOW)]

4. 後援(申請予定)

滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

5. 助成

障害者芸術文化活動支援センター運営費補助金(滋賀県)

6. 開催場所

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA (滋賀県近江八幡市永原町上 16)

7. 開催期間

2024(令和6)年12月21日(土)~2025年3月2日(日)

開催日数:52日間

前期:2024(令和6)年12月21日(土)~2025(令和7)年1月26日(日) 26日間

※12月28日(土)から1月3日(金) 年末年始休館

【搬入日:2024年12月18日(水)、19日(木)】

【搬出日:2025年1月27日(月)】

後期:2025年2月1日(土)~3月2日(日) 26日間

【搬入日:2025年1月29日(水)、30日(木)】

【搬出日:2025年3月3日(月)】

8. 開館時間

11:00~17:00

9. 休館日

月曜日(月曜が祝日の場合、翌平日休館)、年末年始(12月28日~1月3日)

展示入れ替え期間:1月27日(月)~1月31日(金)

10. 観覧料

一般 200円(150円)、高大生 150円(100円)、中学生以下無料

障害のある方と付添者1名無料

※()内は20名以上の団体料金

※参加施設利用者、付添職員は無料

※参加施設に招待券を配布

11. 出展対象者

滋賀県施設・学校合同企画展実行委員会に参加する福祉施設や特別支援学校等を利用している方

12. 開催方法

滋賀県内を中心とした障害福祉施設や特別支援学校等と、ボードレス・アートミュージアム NO-MA が滋賀県施設・学校合同企画展実行委員会(以下、実行委員会)を組織し、企画立案・運営を行う。

13. 実行委員会

本事業に参加する福祉施設と特別支援学校等の職員で構成する。その中から委員の互選により実行委員長 1 名と副実行委員長 1 名を選出する。

14. アドバイザー

美術作家の野原健司氏をアドバイザーとして実行委員会に迎え、助言をいただく。

・野原健司氏プロフィール

美術作家。大阪を拠点に作家活動を展開。絵や立体、映像アニメーション、それらを組み合わせたインスタレーション作品を制作。当然のごとく在る物に意味の綻びを見つけ出し、飛躍や変容を通して多様なワクワクできる日常空間を再構築していく。第 15 回から、滋賀県施設・学校合同企画展のアドバイザーを務める。

15. 実行委員会スケジュール

令和6年7月から令和6年12月まで月1回、展覧会終了後に1回、計7回開催する。

16. 関連イベント

開催期間中に関連イベント(トークイベントやワークショップ等)を開催予定。

また、上記イベント以外に、美術活動に活かす視点を得ることを目的とした、実行委員同士の交流と学びの機会等を持つ。

17. 事務局・お問い合わせ

第21回滋賀県施設・学校合同企画展実行委員会 事務局

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地 2

社会福祉法人グロー 法人企画局地域共生部内

担当: 赤澤誉四郎、橋本悦子、井田翔子、中瀬未歩

TEL/0748-46-8100 FAX/0748-46-8228

E-mail akazawa-yoshiro@glow.or.jp